

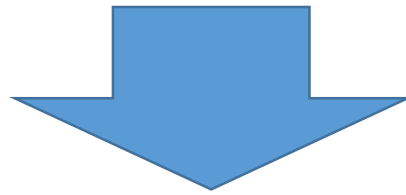
新たなアンケート手法の実証実験について①

アンケートを利用した市民意識調査の手法の課題

- ・ 費用、労力がかかる
- ・ 調査、集計、分析に時間を要する

市民意見等を施策事業へ反映するまでタイムラグ発生

全国の自治体初



汎用事務アプリケーションで、市民意見等の
リアルタイム把握・分析・活用実現の要否を検証

新たなアンケート手法の実証実験について②

■ 実施期間

- ① 2022年10月下旬
- ② 2022年11月
- ③ 2023年1月

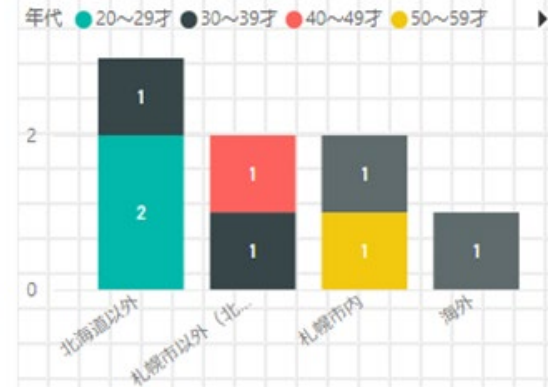
■ 実施方法

- ・ 札幌市公式LINE・Twitterからアンケートフォームに意見を投稿
- ・ 集計状況をリアルタイムで公開

集計結果イメージ

(仮称) 札幌市に対する認識度把握調査
回答状況 (リアルタイム)

居住地別年代別カウント



SAPP ROマークを見たことがある (男女比)



SAPPO ROマークを見たことが「ある」と回答した割合

新たなアンケート手法の実証実験について③

■ テーマ

第1回：(仮称)札幌市に対する認識度把握調査 (質問例)

- ・ 札幌のイベントといえは？
- ・ 札幌の観光スポットといえは？
- ・ サッポロスマイルのロゴマーク、見たことある？

※第2回・第3回のテーマは未定

●新たなアンケート手法の実証実験について

札幌市では、現在、郵送やインターネットで実施している市民アンケート調査について、SNS を介して実施し、リアルタイムに市民に結果を公表する実証実験を全国で初めて実施いたします。

本市では、引き続き業務改善に努め、市政への市民意見の反映に努めてまいります。

1 実証実験の目的

本市施策に対する市民意見等を迅速かつ低コストで把握するため、アンケートフォームの作成・集計から結果報告までの一連のプロセスを汎用性の高いアプリケーションにて実施し、加えて、調査結果をリアルタイムに市民へ公表することで、まちづくりへの参加意識を高めることを目的に実施する。

この調査手法が、本市施策に反映するために、回答数や回答属性など適切に市民意見の集約が可能かどうかを検証するための実証実験とする。

2 概要

(1) 実施概要

札幌市公式 LINE および Twitter に投稿するアンケートフォームへのリンクから回答していただき、その回答をリアルタイムで集計し、ウェブブラウザにて公開する。

併せて、意見を寄せていただいた方々の性別・年代・住まい・意見の傾向などを過去の調査と照らし合わせ、傾向分析や調査手法の妥当性、結果報告に対する市民の反応等を検証する。

(2) 実施スケジュール・テーマ

第 1 回：2022 年 10 月下旬予定（2 週間程度）

「（仮称）札幌市に対する認識度把握調査」

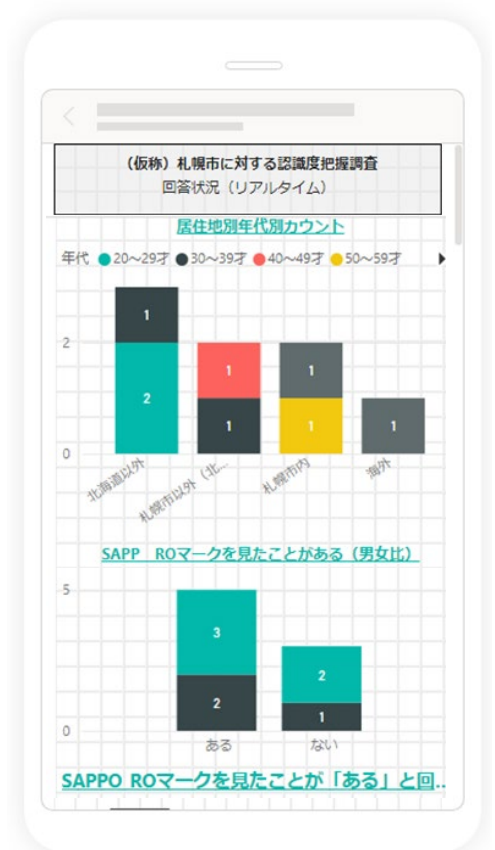
第 2 回：2022 年 11 月

第 3 回：2023 年 1 月

※第 2 回・第 3 回のテーマは未定

(3) 使用するアプリケーション

Microsoft365 E5、Microsoft Power BI



▲集計結果イメージ

【問い合わせ先】

総務局広報部広報課 瓦本・市田

電話：211-2036、ファクス：218-5161